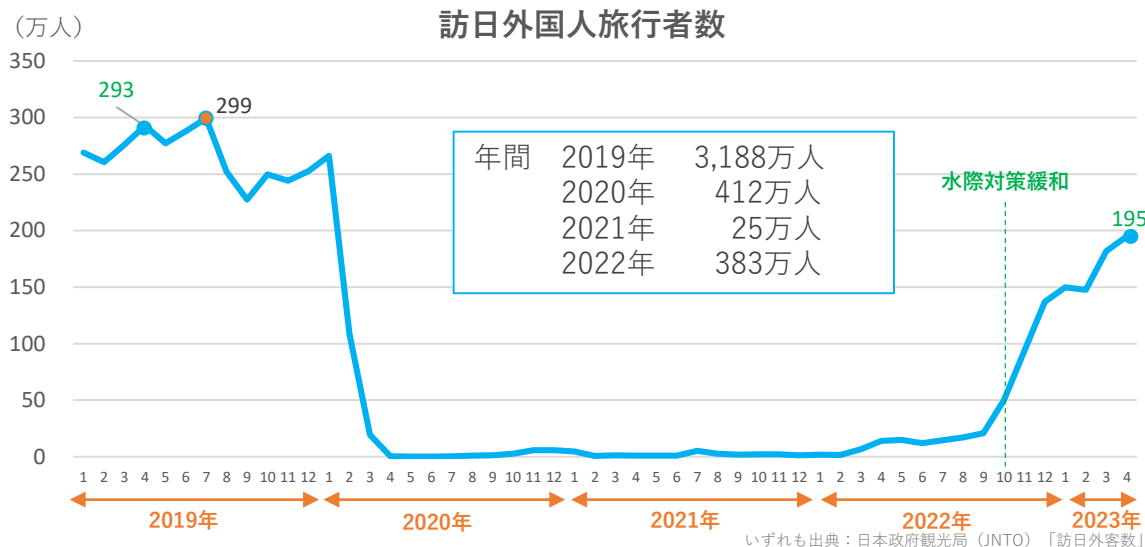


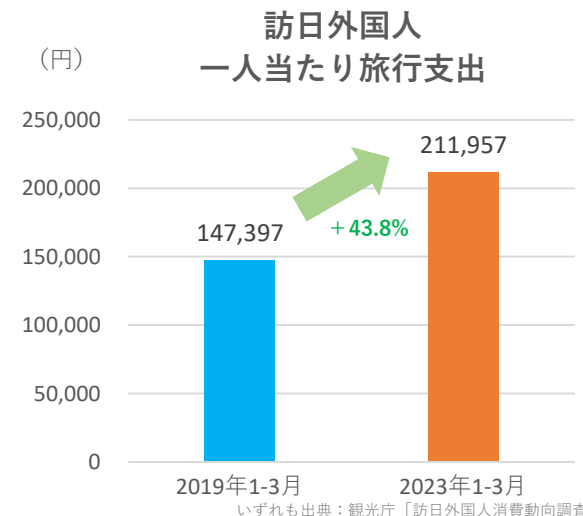
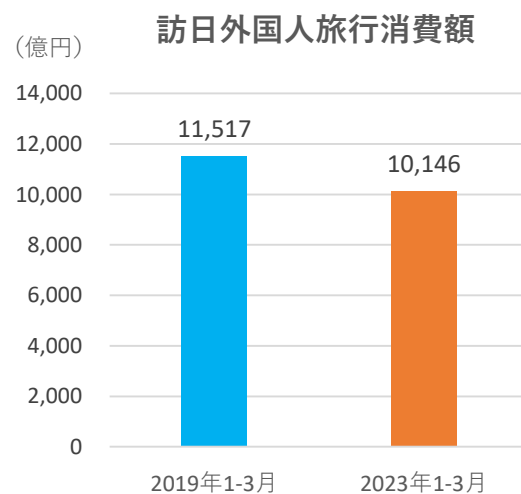
## 訪日外国人旅行者の推移

- コロナ前（2019年）の訪日外国人旅行者は、最多月（7月）で**299万人**、年間**3,188万人**
- 2020年以降、訪日外国人数は**激減**
- 昨年10月の**水際対策緩和**以降、**増加基調**
- **2023年4月**は195万人、**2019年同月**293万人と比べ**66.6%まで回復**



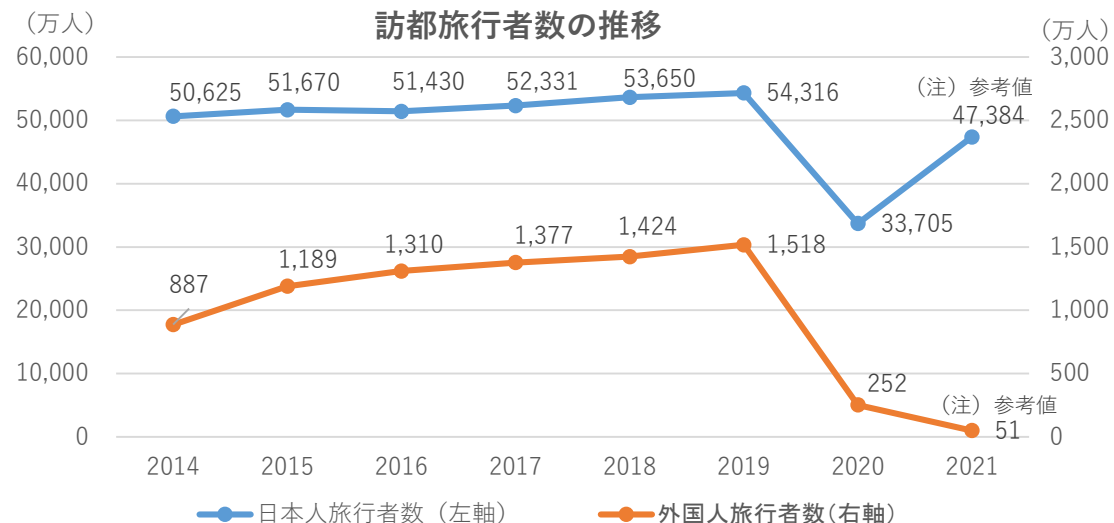
## 訪日外国人の消費動向

- 2023年1-3月の訪日外国人旅行の**消費額の総額**は1兆146億円で、2019年同期比**88.1%まで回復**
- 同期間の訪日外国人**1人当たり旅行支出**は21.2万円であり、2019年同期比**43.8%増**



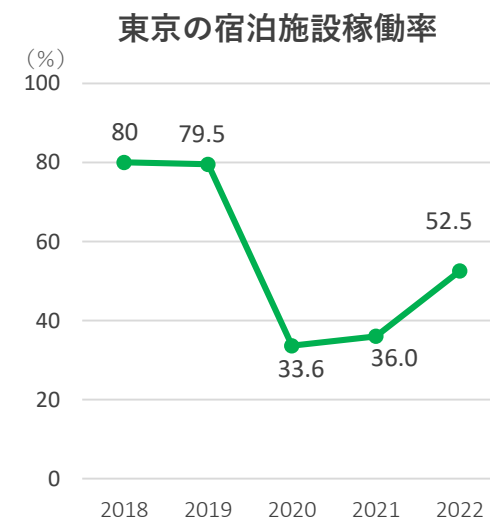
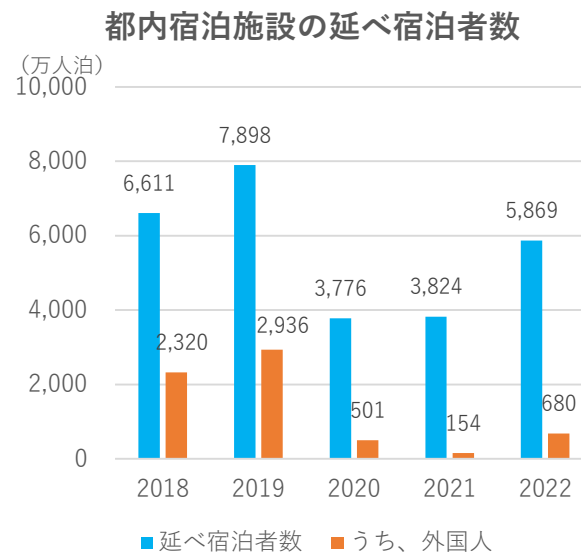
## 訪都旅行者数の推移

- 東京を訪れる旅行者は、**2019年**、日本人・外国人ともに**過去最多**を記録
- 2020年の大幅減を経て**2021年**、日本人旅行者はある程度**回復**したが、**外国人旅行者数**は依然**低迷**



## 都内の宿泊施設の状況

- 2022年の都内の延べ宿泊者数**は、2021年より大きく増加したものの**2019年には及ばない**。
- 稼働率も同様に、**回復傾向**にあるものの、**2019年の水準には届いていない状況**



## 世界における観光都市としての評価

- 魅力的な都市として**東京**は**観光客**に**高く評価**されている。
- さらなる飛躍のためには、**東京**の**魅力**をより一層広く**発信**していかねばならない。

### 観光客が評価する都市ランキング

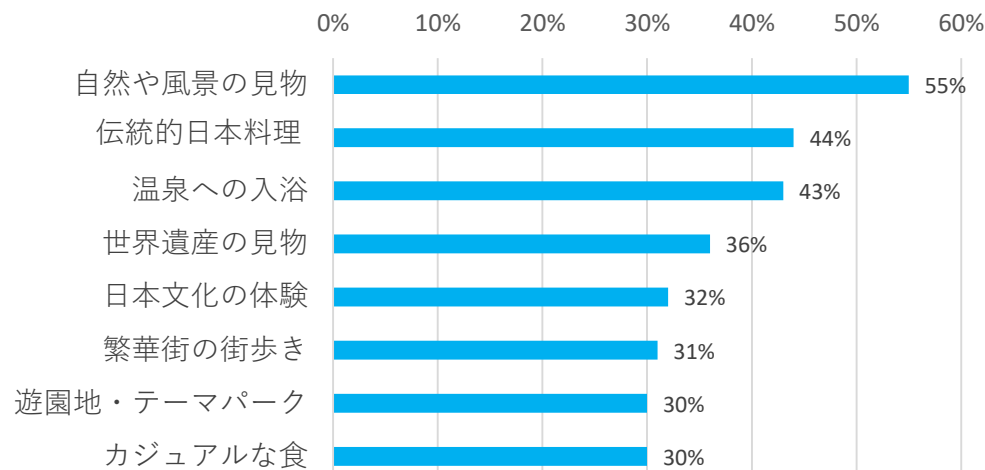
	2020年	2021年	2022年
1位	ロンドン	ロンドン	ロンドン
2位	パリ	<b>東京</b>	パリ
3位	<b>東京</b>	パリ	<b>東京</b>
4位	ニューヨーク	ニューヨーク	ニューヨーク
5位	ベルリン	アムステルダム	ドバイ
6位	シンガポール	ドバイ	マドリード
7位	マドリード	ベルリン	アムステルダム
8位	アムステルダム	モスクワ	モスクワ
9位	モスクワ	マドリード	イスタンブール
10位	ドバイ	シンガポール	ベルリン

出典：森記念財団「Global Power City Index」Global Actor~Tourist~

## 外国人を惹きつける日本の観光資源

- 外国人が訪日旅行に求めるものの上位は、**自然・風景の見物**や、**伝統的**日本料理**、**温泉****など
- 旅行者のニーズに合わせた**観光資源**の**開発・磨き上げ**が必要

### 訪日旅行で体験したいこと（2022年10月）



（出典）（株）政策投資銀行、（公財）日本交通公社「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2022年10月）」

## 世界各都市における国際会議の開催状況

- 東京は着実に順位を上げ、**2019年は世界10位**
- 水際対策**の実施中は、対面形式での会議開催が困難であったため、**オンライン会議**を実施
- 今後は対面形式**での開催誘致を再び推進

主要都市の国際会議開催件数（2019年→2022年比較）

2019年			2022年
順位	都市名	開催件数	開催件数 ※
1	パリ	237	134
2	リスボン	190	144
3	ベルリン	176	113
4	バルセロナ	156	133
5	マドリード	154	128
6	ウィーン	149	162
7	シンガポール	148	101
8	ロンドン	143	106
9	プラハ	138	129
10	東京	131	39



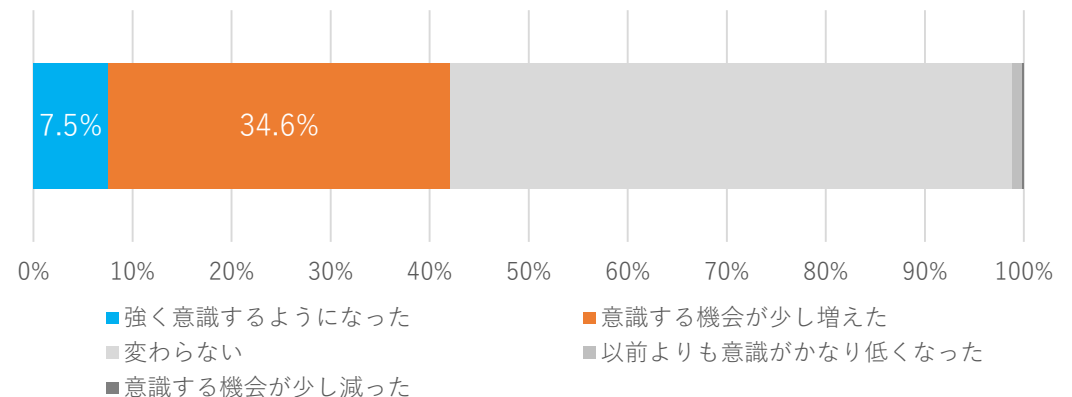
※ICCA基準でオンライン会議は除外

資料：ICCA「StatisticsReport2019」及び「2022 ICCA Ranking」を基に東京都作成

## サステナビリティに関する旅行者の意識の高まり

- 2020年～2022年を通じて、**4割を超える方が、旅行でサステナビリティを意識する機会が増えた。**
- 旅行における**サステナビリティ**への意識が**根付きつつある。**

サステナビリティに関する意識の変化  
(2020年1月～2022年12月)

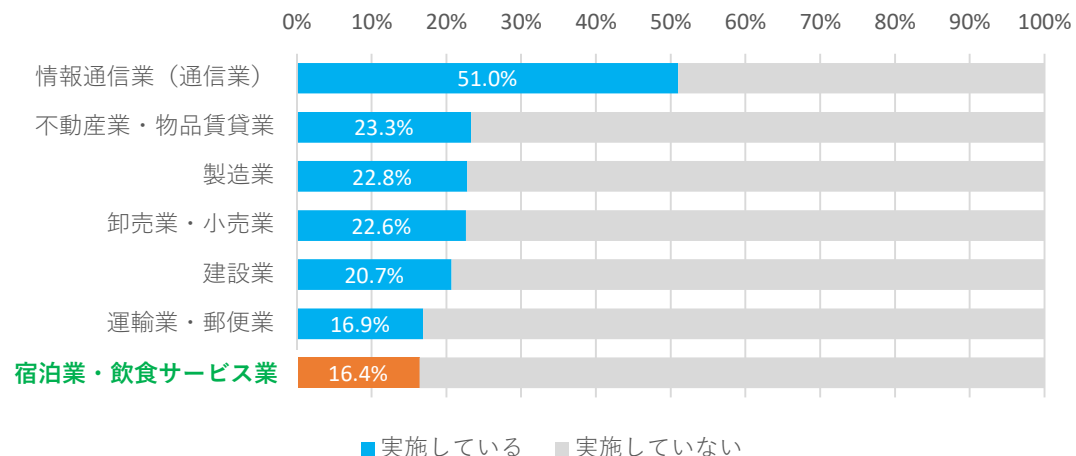


出典：2023年3月23日付観光経済新聞

## 観光産業におけるDXの取組状況

- **宿泊業・飲食サービス業**でDXに取り組んでいる企業は、**16.4%**にとどまる。
- 他の産業と比べても、**遅れている状況**

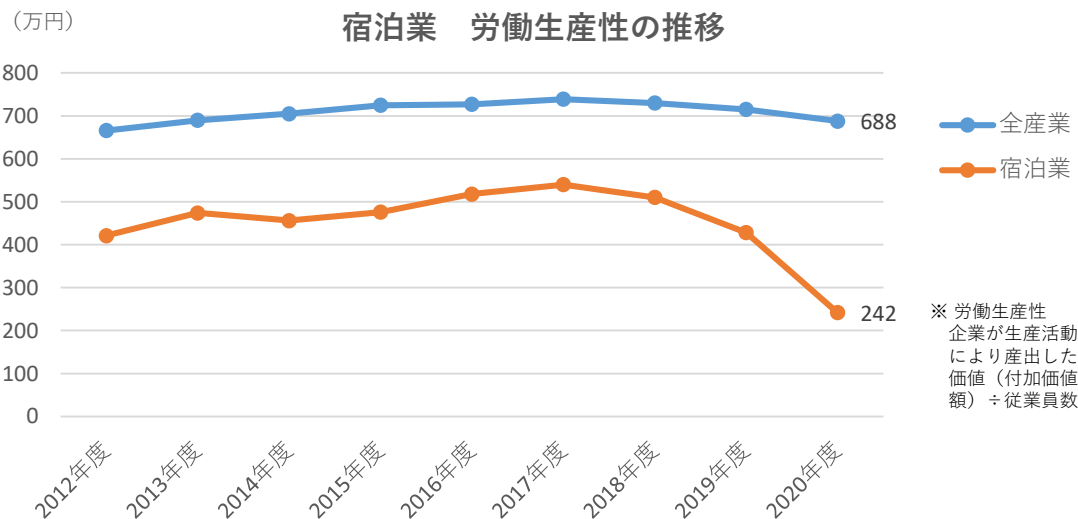
産業別 DXの取組状況



資料：観光庁「令和4年度観光白書」に基づき東京都作成

## 宿泊業の労働生産性

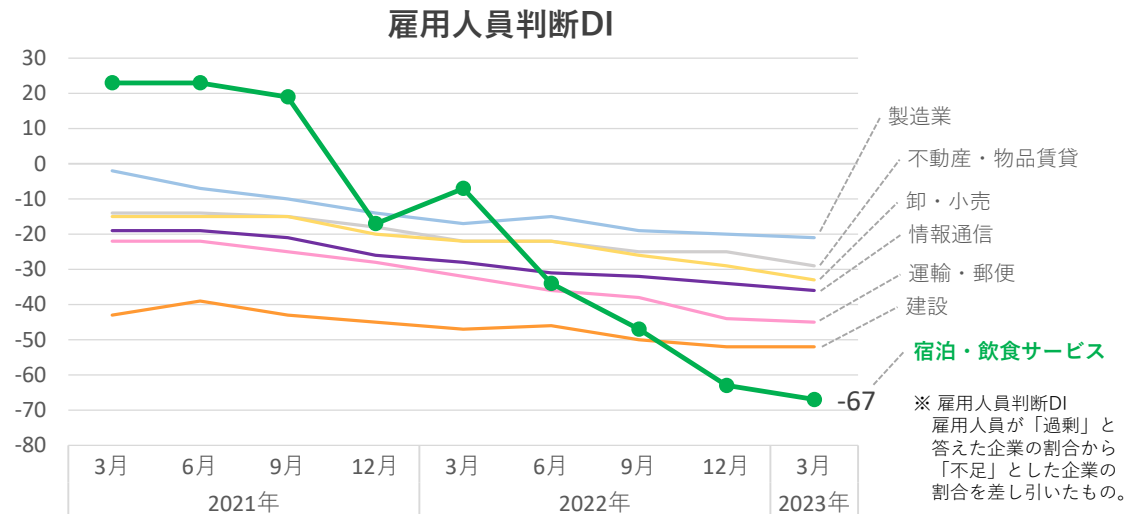
- **宿泊業の労働生産性**は、全産業と比較して**低い**状況が長年続いってきた。
- **コロナの影響**で、さらに**低下**している。



出典：観光庁「令和4年度観光白書」

## 観光産業における人材不足 ①（人材需給のひっ迫状況）

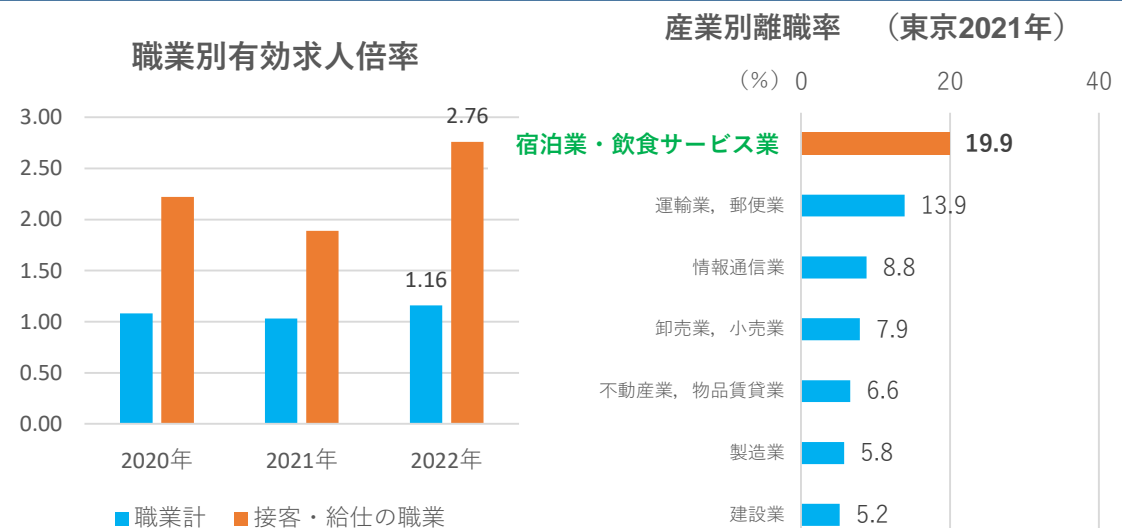
- 旅行需要の回復に伴い、**人材の需給がひっ迫**
- 2023年3月の**雇用人員DI**では、**マイナス67ポイント**となり、他産業と比べ、**人材不足が深刻な状況が鮮明に**



出典：日本銀行 全国企業短期経済観測調査（短観）

## 観光産業における人材不足 ②（有効求人倍率・離職率）

- 観光産業を支える「**接客・給仕の職業**」の**有効求人倍率**は相対的に**高い**
- 宿泊業・飲食サービス業**の**離職率**は他産業と比べて**高く**、**人材の定着**が観光産業の**課題**



出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」厚生労働省「雇用動態調査」